

GC学科 四言語科目履修要件一覧表(1・2・3年)

2019年4月 GC学科会議改訂

配当年次	科 目 名	履 修 要 件	補 足
4年	特別研究 (四言語関係)	当該言語の「〇〇研究A」・「〇〇研究B」の2科目両方とも履修済であること	当該言語の文献をテキストとする講読演習 —正確な訳読に加え注釈作成のための調査・関連学習を要する
	〇〇語会話ⅢA・B	「〇〇語会話ⅡA」・「〇〇語会話ⅡB」の2科目のうち少なくとも1科目を履修済であること【推奨:2科目全て履修済】	
3年	〇〇研究A・B	「専攻〇〇語ⅠA」・「専攻〇〇語ⅠB」・「〇〇語会話ⅠA」・「〇〇語会話ⅠB」の4科目全てを履修済であること	当該言語の基礎講読(「特別研究」履修の前提科目) —文章読解の基礎と当該言語地域理解に関する調査・関連学習を行う
	専攻〇〇語ⅡA・B	「専攻〇〇語ⅠA」・「専攻〇〇語ⅠB」の2科目のうち少なくとも1科目を履修済であること【推奨:2科目全て履修済】	
	〇〇語会話ⅡA・B	「〇〇語会話ⅠA」・「〇〇語会話ⅠB」の2科目のうち少なくとも1科目を履修済であること【推奨:2科目全て履修済】	
2年	専攻〇〇語ⅠA・B	「〇〇語会話入門」を履修済であること	
	〇〇語会話ⅠA・B		
1年	〇〇語会話入門	1年前期「言語選択」で履修を認められていること	「会話入門」が不可になると、次年度以降の全ての言語科目の履修が年単位で遅れて行く。

〈補足および運用規則〉

- (1)「Ⅰ・Ⅱ(・Ⅲ)」科目については、規定上はA・Bのいずれか1つに合格していれば上位科目を履修できるが、現実には授業内容について行くのがかなり困難となるケースが多い。段階を追った、着実な学修を心がけること。
- (2) 特別な事情(家庭言語環境など)がある学生は、「会話入門」などをスキップして、上位科目からの履修が認められる場合があるが、必ず履修登録の前に担当教員の下承を得ること。また、最終的な決定は学科会議を経ることとする。
- (3) 日本語教育に関する「特別研究」の履修要件は次の通り;[必須]日本語教員養成課程の必修科目を全て履修済みであること。
(ただし、「日本語教授法」と「日本語教育実習」を除く。)
- (4) 認定留学によって要件となる科目が履修できなかった場合、当該言語に関しては履修要件を満たしたものと見なす。
- (5) 言語選択で決定した言語の「会話入門」2科目を全て履修した者は、教務委員の下承の下で、更に別の言語を選択履修することができる。
- (6) 編入学・留学によって履修要件を満たせなかった場合は、指定された検定と「特別研究」担当教員の口頭試問の両方の合格を条件に、卒業年次に「〇〇研究A・B」と「特別研究」の併行履修を認める場合がある。(合格すべき検定の名称・級およびその期日は、各担当教員が教務委員の下承の下で指定する。)